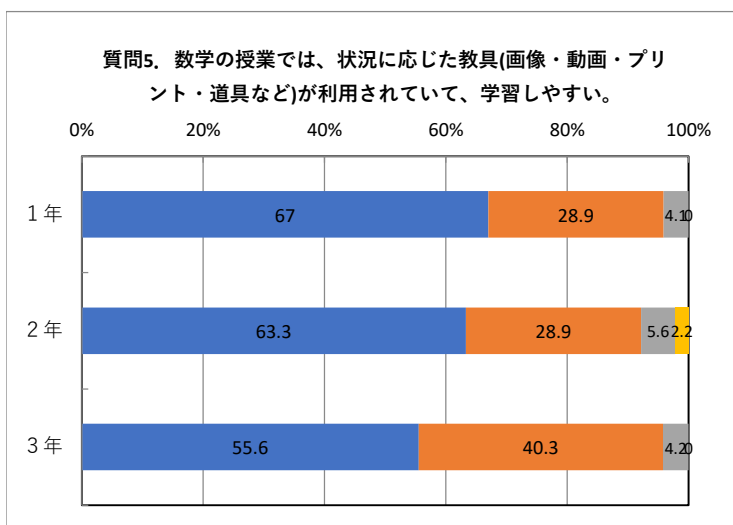
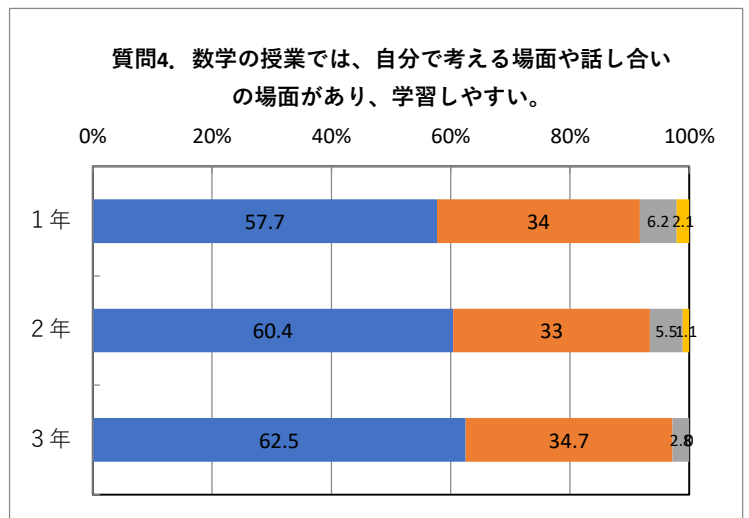
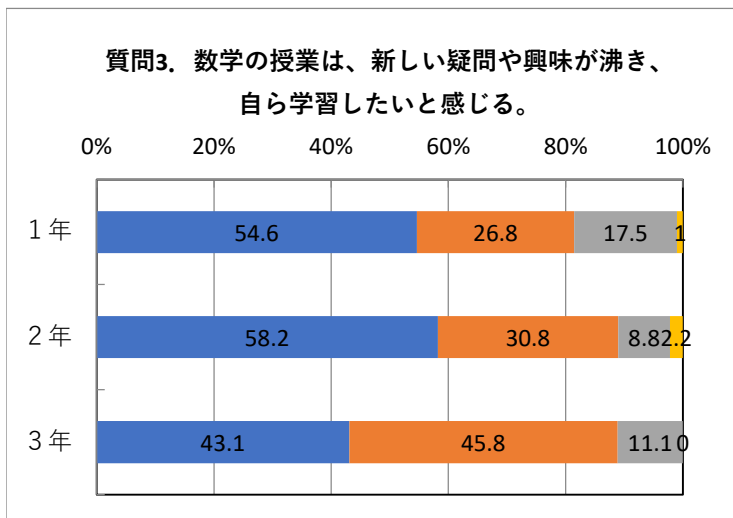
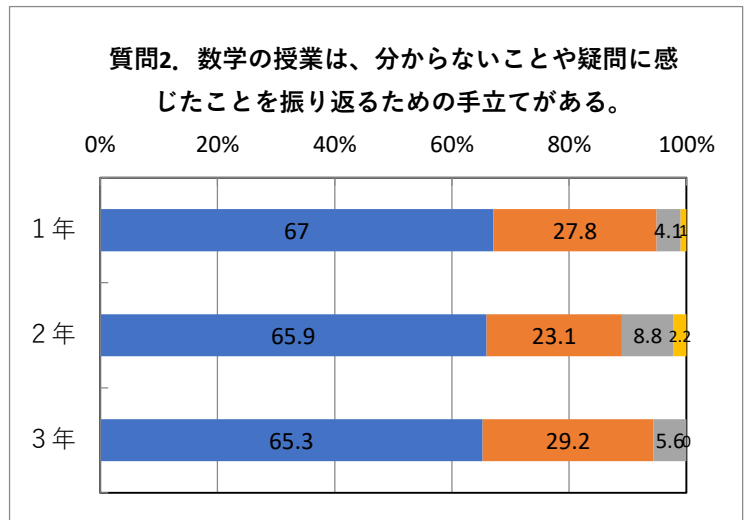
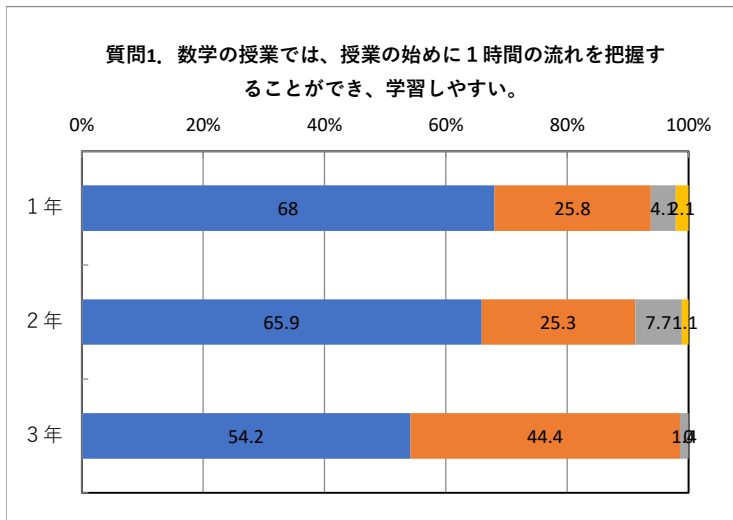


令和3年度 学校評価 授業編【数学】 アンケート集計結果 調布市立第八中学校



【7月】



【分析】
 今年度から評価の観点が変わり、生徒の主体性を養うことと、インクルーシブ教育の観点から、個別最適化された授業が課題となっている。しかし、各項目に10%弱の否定的意見が見られる。これらは、授業内の教師の発問、教具の使用手法、数学的活動の方法に起因するため、授業改善に努めていく。

【課題】
 [1年] 「質問3」の否定的意見が18.5%と高い。1年生は、中学校数学の各領域において基盤となる学年である。そのため、誘導ではなく生徒に発見させる授業・発問で、数学的概念を身に付けられるよう、授業改善を行う。
 [2年] 「質問2」「質問3」の否定的意見が10%と高い。授業中、生徒がお互いに確かめ合える場面や、考えを深め合える場を増やしていく。
 [3年] 「質問3」の否定的意見が11%と高い。3年生は、これまでの中学校数学の既習事項を基に、深めていく学年である。新しい公式や証明など、生徒主体で考えられる場を授業内につくっていく。